

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

非常勤講師の 行事直前の現場は大混乱

行事日の勤務について制限

支援学校の実態に

見合った運用をおこなえ

5月14日の夕方から数日間わたって、今年度から非常勤講師の先生が運動会や学習発表会などの行事に勤務してもらえなくなったと校長が言っているとの相談が各分會から相次いで寄せられました。5月から6月にかけて運動会・体育大会を控えている各学校では、「これまで通りの行事ができない」「なぜ行事の直前にこんな話が出てくるのか」との声が上がっています。

なぜこの時期に現場は大混乱

各学校で校長は、5月14日の支援学校校長会で、非常勤講師は行事日には勤務できないので、運動会などの行事日はいないものとして体制をとるよう「各学校で周知することになった」という趣旨の説明をしています。



大障教は、5月15日に府教委に対して、各学校で大きな混乱が生じている事例や「妊娠時の体育実技軽減」「腰痛軽減」の非常勤講師の役割など、支援学校における非常勤講師の実態も示して説明を求めました。府教委は、「非常勤講師の勤務の取り扱いについて、現在整理しているところ」とし、一週間後の5月22日によろやく次のような説明を大障教に対しておこなった。

支援学校の実態を見ない運用

「これまでの制度や運用の変更はしていない。以前から非常勤講師の業務は、労働条件明示書」において「教科の授業にあたる」としているの、行事日の勤務はむづかしい「ただし、妊娠時の体育実技軽減や腰痛軽減などは、本務者の母性保護や介助

府教委回答を一方的に覆すもの

また、府教委は、2009年に非常勤講師の報酬及び支給方法の改善が行われた際に、大障教(当時府障教)に対して、別掲囲み非常勤講師の報酬及び支給方法の見直しにおける、報酬支給に対する基本的考え方(府教委)について、府障教に対して府教委が回答した事項の回答をおこなっています。(裏面に掲載)大障教は、今回周知された内容は、この回答を一方的に覆すものであると主張し、府教委に対して厳しく抗議しました。

抜本的な教職員増員、非常勤職員の待遇改善を

いま、府立支援学校は、知的障害児童生徒の増加にともなう「過大・過密」問題や、より高度化する医療的ケアへの対応、発達障害など多様な教育的ニーズをもつ児童生徒が多数に籍するなど、さまざまな課題に直面しています。府立支援学校の現在の教員配置数は、こうした教育課題に十分対応できるものにはなっており、多くの学校で

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



国土面積の3分の2を森林が占める日本では、林業が森林整備の大きな役割を果たしてきました。しかし、戦後の木材需要急増などによる大量伐採で、輸入丸太が増え、国産丸太の価格下落で、林業経営は大きな打撃を受けました。近年は、丸太輸出も自国の産業育成や環境保全のために伐採量を制限しており、丸太の輸入は難しくなっています。

こうした状況の中で安倍内閣は、国産丸太を大量に安く買いたいという大手木材メーカーの要望に応えるため、森林経営者管理法を国会に提出しました。この法案は、植林後50年を経たようやく利用できるようになった森林を大量に伐採し、林業を成長産業にすると称し、森林の所有者に新たに伐採の責務を課しています。その上で、伐採の責務を果たせない所有者から経営権を取り上げようというもので、所有者の権利侵害とも言えます。

この法案の説明資料の元となった調査は、森林所有者を対象に2015年に実施されましたが、回答した123人のうち71.5%は、「現状を維持して森林経営を続けたい」と回答していました。しかし、調査を行った林野庁は、この71.5%の人を、経営規模を縮小したい」と答えた7.3%と合計し、約8割の森林所有者は「経営意欲が低い」と決めつけていたのです。国会審議で野党の追及を受け、林野庁は法案説明資料の該当部分を撤回し、データのねつ造を事実上認めました。

「働き方改革法案のデータねつ造や、公文書の改ざんが大問題になる中、国民を騙して政治をすすめる安倍内閣の不誠実な姿勢が、また一つ明らかになりました。」

大障教定期大会発言ダイジェスト(その1)

素直な芽が素直に伸びる職場づくり

青年部 吉松代議員



私は、先生になって講師も含めて7年目になりました。今日は2つお話をさせていただきます。1つ目は、「若い」という理由だけでほとんど責任のある仕事を与えられる、ということです。

青年層で分掌長などを任されている人はたくさんいて、仕事が忙しい時は教室で衣服もできない、子どもの話を相担どうしでゆっくりしている暇もないという状況になるといふことを、身をもって感じています。そんな中でできることは、仲間どうしで励まし合うこと、

また学び合って忙しい中でも子どもたちとていねいに向き合うことかと思っています。組合の教研活動を通して先輩方や専門家の方から多くを学び、また仲間との意見を交流などを通してお互いを励まし合いたいと思います。

2つ目は、意外と後輩の存在がポイントになるといふこと、やっぱり「若い」として良いんじゃないということ。素直に聞いてくる新人や転任してきた若い後輩たちに、私がアドバイスしたりすることで自分が学ぶことも多いです。先日行われた青年部のバレーボール大会でも、若さゆえの力を感じました。これらのことから、素直な芽が素直に伸びる職場づくり、仲間づくりがしたいなと思います。

2009年3月23日
非常勤講師の報酬及び支給方法の見直しにおける「報酬支給に対する基本的考え方」(府教委)について、府障教に対して府教委が回答した事項
府立支援学校の実態をふまえて、次のとおり扱う。

1. 「授業に準じるものとした業務」について
これまでどおり、授業割振表で示す配置時間をもとに報酬を支給する考え方である。校内行事等については授業に準じるものとして扱う。したがって、非常勤講師が勤務時間において校内行事等で児童・生徒等の指導にあたれば、報酬の支給対象とする。
(略) (略) (略)
2. 「年間35単位時間を基本に、予算の範囲内で学校長は非常勤講師に命じることができる」について
・年間35単位時間(1学期13単位時間、2学期14単位時間、3学期8単位時間)の考え方を基本とするが、授業および授業に準じるものとした業務については実態に応じて措置したい。
3. 非常勤講師の報酬及び支給方法の見直しについて、問題や不都合が生じれば、府障教と協議をおこなう。

心から信頼し合える仲間がいるのが組合

東住吉支援学校分会 平部代議員



東住吉支援学校は築40年の旧大阪市立矢田小学校を部分的に改修し、2013年に開校しました。肢体不自由教育部門と知的障害教育部門があり、併せて370名の子どもたちが学び、教職員も200名を超える大所帯です。支援学校としての改修は極めて不十分で、特にトイレ不足が深刻で、運動会や文化祭では少ないトイレに子どもたちが集中して大混

乱になります。施設設備の問題に加えて深刻なのが教員定数の問題です。教員定数は「標準法」によって計算されますが、障害種別によって計算式が変わり、知的障害よりも肢体不自由の方が多く配置されます。しかし本校は、2部門なのに障害種別ごとに計算されず、すべて知的障害の計算式が当てはめられています。府教委の回答は「知的障害児

童生徒の方が多から」という納得のいかないものです。分会では適切な教員配置がなされるよう取り組んでいます。
組織拡大については「心から信頼し合える仲間がいる!それが組合!」を合言葉に分会でとりにくんでいます。これからも、一人でも多くの仲間が増えるようがんばっていききたいです。

「働かせ方」改悪阻止 9条改憲ストップ 安倍内閣は即退陣

大阪メーデー

「働かせ方改悪阻止。8時間働けば暮らせる賃金を」「9条を守り平和な未来を」「改ざん、隠ぺい、ねつ造、セクハラ、改憲:安倍内閣は即刻退陣せよ」と労働者の思いを集めて、大阪・扇町公園をはじめ、府内15カ所でメーデー集会が開催され、約1万人が参加しました。扇町公園の大阪メーデーには大障教から14人が参加し、集会後は繁華街を元気にデモ行進しました。



大障教から14人が参加しました。声と反対のことを推し進めているのが安倍政権。さらにいま、雇用・働くルールを破壊する「働かせ方」改悪法案の審議入りを強行した。国政私物化、開き直り政治をすすめる安倍政権は即退陣を」とあいさつしました。

決意表明では、各団体の代表が賃金のベースアップの訴えをはじめ、改憲反対や消費税増税ストップ、働き方改悪、労働者の権利侵害を許さないなど、安倍政治や維新政治を告発しました。

集会後は2コースに分かれて、「国民だましの政治は許さないぞ」「最低賃金1500円に引き上げよう」「憲法9条を守ろう」「大阪にカジノはいらない」などのシュプレヒコールを高らかに響かせながら行進しました。